

マネーplus+

お金とくらしの 情報通信

2025.FEB
vol.18

JAから、相続や資産形成・資産運用などに役立つ
基礎知識やトピックスをお届けします。

Column
耳寄り情報



©よりぞう

Message



安心でゆとりある将来を考えたとき、
お金の不安は少なからずあると
思います。そこで、今の資産状況を
確認し、将来のために
少しずつでもできることを
探してみませんか？



資産運用の専門家がお届けします/

f pフェアリンク株式会社 代表取締役

白浜 仁子

Shirahama Tomoko

「余裕資金」を見える化しましょう！

今後の人生設計やライフイベントを楽しみながら、豊かな生活を送るためには、資産状況を把握して目的に応じた“お金の色分け”をすることが大切です。さっそく、その方法をみていきましょう。

レッツトライ！ お金の色分け

①いつでも使えるお金

毎日の生活に必要なお金や、急な出費の際にいつでも引き出せるようにしたいお金をいいます。おおむね3～6ヵ月くらの生活費が目安で、ローンの返済費用も含めて考えましょう。こういった資金は、普通貯金を中心に預けておくのが適しています。

②しっかり貯めるお金（そなえるお金）

近い将来、すでに使い道が決まっているお金をいいます。結婚資金や車の購入費、マイホームの頭金、教育資金、リフォーム資金などは一例です。人生のなかで起こ

るリスクに備えるお金もここに色分けしましょう。このような資金は、定期貯金や国債、貯蓄性の保険・共済など、資金の必要な時期や性質に合わせて、どのように貯めるかを検討します。場合によっては、一部を資産運用にあてることができるかもしれません。

③じっくり育てるお金（のこすお金）

当面使う予定がない、老後資金や将来のためのお金です。時間をかけてじっくり育てることができる投資信託などで資産運用をするのに、最も向いている資金といえます。また、子どもなど大切な人に遺したい資金は、保険・共済等を利用して資産をスムーズに引き継ぐ方法もあります。

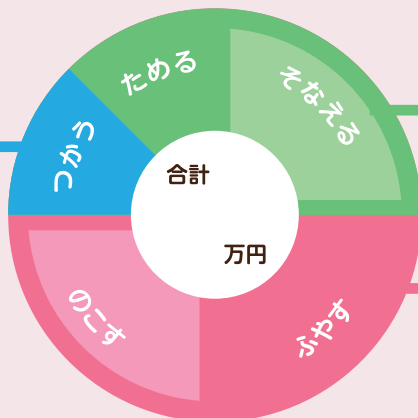
このようにお金を色分けすると、最適な置き場所が見えてきます。また、昨今の物価高やインフレによる資産価値の目減りからお金を守ることも必要です。じっくりと育てることができるお金は、資産運用を検討していきましょう。

① いつでも使えるお金

毎日の生活に必要なお金や、急な出費の際にいつでも引き出せるお金（おおむね3～6ヵ月の生活費相当）。

例）食費・日用品費・光熱費
ローンの返済費用 など

万円



② しっかり貯めるお金（そなえるお金）

近い将来、すでに使い道が決まっているお金（人生のなかで起こるリスクに備えるお金）。

例）結婚資金 車の購入資金
マイホーム購入の資金 リフォーム資金
子どもの教育資金や結婚資金 など

万円

③ じっくり育てるお金（のこすお金）

当面使う予定がなく、将来のために増やしておきたいお金（大切な人のために少しでも多く・スムーズに遺すためのお金）。

例）老後の生活資金
ゆとりある生活を送るための資金 など

万円